

だいのほら

秋号
2024



特集
消化器内科

目次

特集：消化器内科

「胃がん・大腸がん 内視鏡で早く見つけて早く治す！」	2
総合患者サポートセンターがリニューアルしました！	4
部署紹介：7階西病棟	6
健康コラム「ピロリ菌を知っていますか？」	7
栄養コラム「秋の味覚で食物繊維を摂ろう！」	7
information	8



ご自由にお取りください

胃がん・大腸がん

内視鏡で早く見つけて早く治す！

消化器内視鏡センター長・消化器内科部長 大矢内 幹

胃がん、大腸がんについて

胃がんと大腸がんは、日本において非常に多く見られるがんです。宮城県の令和2年の部位別がん罹患率では、**男性で胃が1位、大腸が2位、女性では大腸が2位、胃が4位**と上位を占めています。進行すると食欲低下や腹痛、便秘異常などの自覚症状が現れますが、無症状の段階で検診を受けていれば、早期発見の可能性が高まり、内視鏡治療や外科手術により基本的に完治が可能です。



胃バリウム検査で異常が指摘された場合や、便潜血検査が陽性になった場合は、内視鏡（カメラ）による精密検査が必要です。最近では仙台市でも胃がん内視鏡検診が実施されており、当院もその登録医療機関です。胃カメラ検査では、喉元から食道、胃、十二指腸までをくまなく観察します。近年の内視鏡機器は著しく進歩しており、NBI（狭帯域光観察）や拡大内視鏡などを用いることで、数mmのがんの発見も可能となっています。大腸カメラ検査は、肛門から大腸の一番奥にある盲腸まで挿入し、少しずつ抜きながら腸内をくまなく観察することで、数mmの小さなポリープや初期のがんを発見することができます。

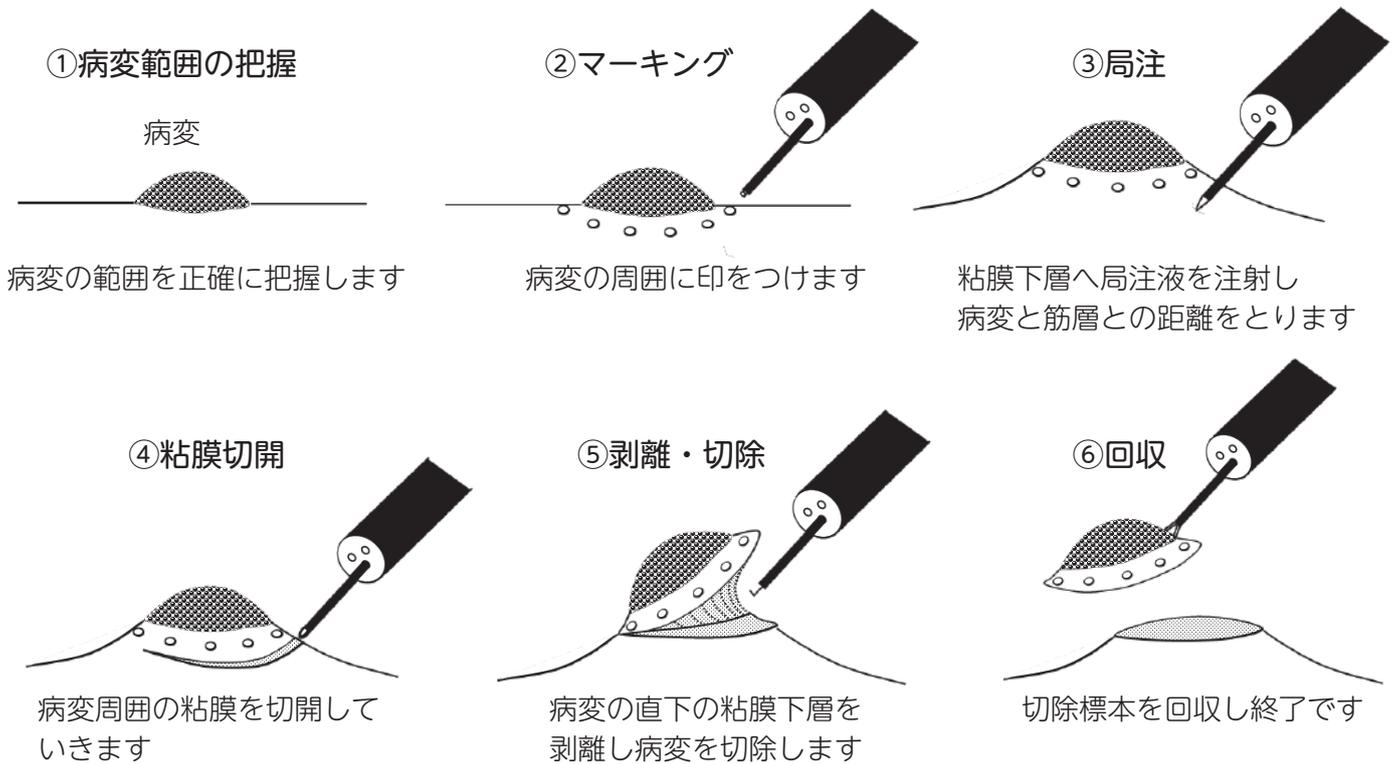
大腸ポリープは、ある程度の大きさ（5mm以上が目安です）になると、将来的にがん化するリスクが高まります。そのため、大腸ポリープを内視鏡で治療することは大腸がん予防において非常に重要です。大腸ポリープの治療には、輪の形をした電気メス（スネア）を用いて病変を根元で締めて切除するポリペクトミーや、根元に液体を注入して病変を浮き上がらせた後にスネアで締めて切除する内視鏡的粘膜切除術が行われます。



ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）の治療風景

胃がんや大腸がんは、壁の表面（粘膜）から発生し、徐々に深く浸潤していきますが、早期であれば壁の外側にあるリンパ節への転移の可能性は極めて低いため、内視鏡（胃カメラや大腸カメラ）を用いた治療で完治することが可能です。早期胃がんや早期大腸がんに対しては、**ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）**が行われます。これは、カメラの先端から特殊な電気メスを用いて、病変を慎重に観察しながら必要最小限の範囲で剥ぎ取る治療法です。静脈麻酔を使用するため、手術は眠っている間に終了し、お腹を切開する必要もなく、臓器も小さくならないため、身体への負担は少なくて済みます。

■ ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）の流れ ■



消化器内科について

当院の消化器内科には、日本消化器内視鏡学会認定の専門医や指導医が多数在籍しており、最新の内視鏡システムを導入しているため、正確な検査と適切な治療ができる環境が整っています。胃カメラは、5mm ほどの細さで高画質を兼ね備えた最新の機器を使用しています。また、胃カメラ検査、大腸カメラ検査ともに、鎮静剤を使用することで、うとうとした状態で快適に検査を受けることができます（年齢制限があります）。内視鏡検査に対して「怖い」「恥ずかしい」と感じることもあるかと思いますが、胃がんや大腸がんは、無症状の早期に発見できれば、しっかりと治療することが可能です。日本人の2人に1人ががんに罹患するとされているため、「自分は大丈夫」と過信せず、**検査の経験がない方はぜひ当院で検査を受けていただきたい**と思います。



胃カメラの先端（上が5mm径の細いカメラ、下が普通の太さのカメラです）

2024年
9月30日
より

「総合患者サポートセンター」が リニューアルしました！



【新しい総合患者サポートセンター開設のお知らせ】

- ▶皆さまが病院を利用する際に、さまざまなサポートが必要な場面があるかと思います。
入院・退院の手続きや、がん治療に関する相談、医療費や福祉に関する手続きなど、患者さんやご家族の皆さまには多くの疑問や不安がつきものです。
- ▶これまで、当院では6つの異なるサポート窓口を設けており、それぞれが専門的な支援を提供していましたが、院内での場所が分散していたため、時にはどこに相談すれば良いのかわかりにくかったり、移動の手間をおかけすることがありました。
- ▶そんな不便を解消し、よりスムーズに患者さんをサポートできるように、このたび新しく「総合患者サポートセンター」を設置しました。このセンターでは、これまで分散していた以下の窓口を一か所に集約し、患者さんやご家族の皆さまがワンストップで必要な支援を受けられるようになっています。

総合患者サポートセンター紹介



- ・ 地域医療連携センター
- ・ 入退院支援センター
- ・ がん相談支援センター
- ・ よろず相談センター（旧患者相談センター）
- ・ 医療福祉相談室
- ・ 両立支援相談窓口



再来受付機はセンター前に設置されています。

- ▶ センターのスタッフは、**医師や看護師だけでなく、ソーシャルワーカーや事務職員も協力し、患者さんの治療や生活を全方位でサポートします。**特に、仕事と治療の両立を目指す方向に向けた「両立支援相談窓口」では、働きながら治療を続けるためのアドバイスも行っています。
- ▶ 新しいセンターはまだ完全に整備されていない部分もありますが、皆さまにより快適にご利用いただけるよう、今後さらに充実した環境を整えてまいります。患者さんの治療が終わっても、地域のかかりつけ医に早く戻れるよう、地域との連携も強化しています。
- ▶ 新しい総合患者サポートセンターは、**皆さまが治療や生活のさまざまな困難を乗り越えるための頼もしい味方となることを目指しています。**どうぞお気軽にお越しください。

部署のご紹介

7階西病棟



7階西病棟を紹介させていただきます。消化器内科、耳鼻咽喉科、小児科からなる混合病棟で、0歳から高齢者までと幅広い年齢の患者さんに対応しています。

消化器内科では、胃癌・大腸癌の内視鏡による切除治療や消化管出血・急性胃腸炎の検査・治療を行っています。また、炎症性腸疾患（IBD）である潰瘍性大腸炎やクローン病などの自己免疫によって消化管に炎症を起こす慢性疾患に対し専門医が対応しています。働きながら治療を継続されている患者さんも多く、勤労者が健康と労働をよりよく調和させて健康的に働き続けられるよう、看護の立場から支援する勤労者看護にも取り組んでいます。

耳鼻咽喉科は、扁桃摘出と副鼻腔の手術や高度難聴による聴覚障害の治療として人工内耳手術も行っています。人工内耳手術は、宮城県内においては東北大学病院と当院のみで行っている手術で県内外から患者さんが来院されています。手術前後の不安に対する援助や退院後の日常生活が不安なく送れるようサポートしています。

小児科は、主に急性肺炎や気管支炎などの感染症疾患による治療を行っています。入院している患児だけでなくご家族へのケアも行き届くよう配慮し、安心して入院生活を送れるようサポートしています。

私たち7階西病棟の看護師は、患者さんが安心・納得して治療に臨めるよう患者さんの声に耳を傾け対話を大切にする看護ケアを提供するよう取り組んでいます。

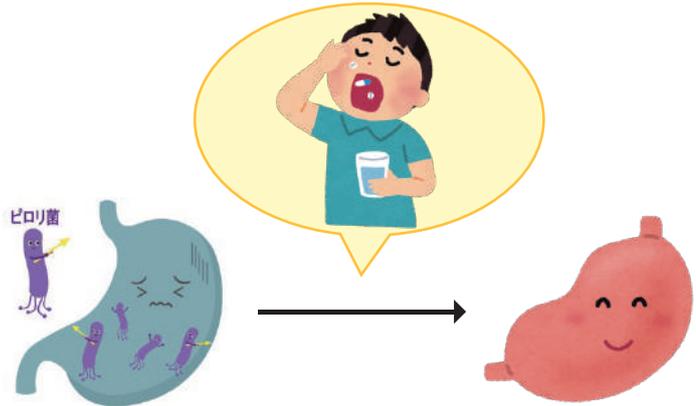


「ピロリ菌を知っていますか？」



ピロリ菌は正式名を「ヘリコバクター・ピロリ」と言い、口から菌が入ることでヒトの胃粘膜に感染する細菌です。幼年期に衛生環境が良くなかった年代に飲み水や食べ物を介して感染している人が多く、環境の整った現代では感染者数は減少していますが、乳幼児期に親族から口を介して感染する場合があります。ピロリ菌に感染した胃がストレス・塩分の多い食事・発がん物質などに晒されながら持続的に感染することで、胃粘膜の防御機能が低下し胃潰瘍や十二指腸潰瘍、さらには胃がんの発生リスクとなることが知られています。

ピロリ菌はお薬での治療が可能で、胃酸分泌抑制薬と2種類の抗生物質の計3種を1週間服用することで8～9割の方が除菌に成功すると報告されています。気になる方は病院でご相談ください。



栄養 コラム

「秋の味覚で食物繊維を摂ろう！」



秋の味覚には食物繊維が豊富な食材がたくさんあります。
たとえば、さつまいも、きのこ、果物など…

食物繊維は便秘の予防や改善だけではなく、コレステロールや血糖値の上昇を抑え、生活習慣病の予防にも役立ちます。

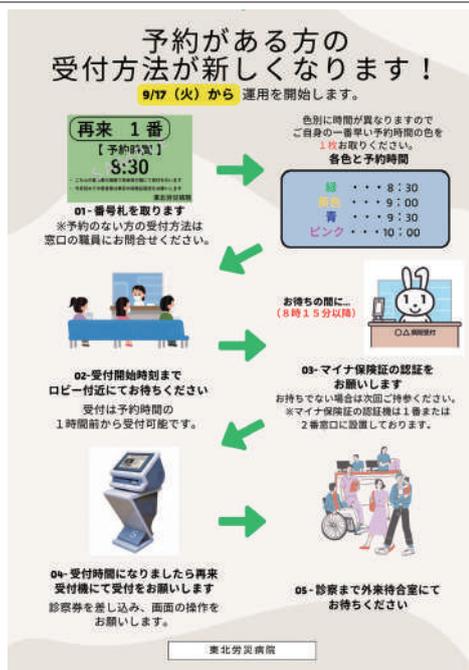
不溶性食物繊維	水溶性食物繊維
水を吸収し膨張するので便のカサを増し、腸を刺激し排便を促進する	水に溶けやすく、水に溶けるとゲル状になり、糖や脂質の吸収を抑制する
さつまいも、きのこ、果物、豆類など	里芋、オクラ、海藻類など

理想的な摂取割合は不溶性食物繊維と水溶性食物繊維の割合が2：1と言われています。
秋の味覚でおいしく、しっかり食物繊維を摂りましょう！

information

予約時間が8:30~10:00の方の 受付方法が新しくなります！

1. 番号札を取ります
色別に時間が異なりますのでご自身の一番早い予約時間の色を**1枚**お取りください
2. 受付開始時刻までロビー付近にてお待ちください
3. マイナ保険証の認証をお願いします
4. 受付開始時間になりましたら再来受付機にて受付をお願いします。
5. 診察まで外来待合室にてお待ちください
※ご不明な点は職員までお尋ねください



交通アクセス

▶バスをご利用の場合

仙台市営バス・宮城交通バス
仙台駅バスプール 2番3番乗り場
宮城大学・宮城学院前方面行、
台原入口下車

▶電車をご利用の場合

JR 仙山線 北仙台駅下車
徒歩 10分

▶地下鉄をご利用の場合

台原駅下車、徒歩 10分



だいのほら

東北労災病院広報誌「だいのほら」
2024年10月発行



独立行政法人労働者健康安全機構
東北労災病院

〒981-8563 仙台市青葉区台原 4丁目3番21号
TEL : 022-275-1111
URL <https://www.tohokuh.johas.go.jp>

